

基本目標 3 歴史・文化・景観の保全・活用と、自然と人とのふれあいの場づくりをすすめ、まちの個性をみがいていきます。

個別目標 歴史的・文化的な環境の保全・活用をすすめ、まちの個性をみがいていきます。〈歴史的・文化的環境の保全〉

市の取り組み

- ①歴史・文化的環境の保全と活用を推進します ②個性ある“まち”の創出に取り組みます

市民の取り組み

- ・地域にどんな文化財があるかを、地域活動や学習会などに参加して学ぶ。
- ・地域の祭礼などに積極的に参加し、伝統行事の継承に努める。

事業者の取り組み

- ・歴史的・文化的建造物等の周囲で開発を行う場合は、それらに配慮し調和するよう努める。

国の重要無形民俗文化財
「小菅の柱松行事」



個別目標 美しい山河や四季の変化などの景観的特徴を守り、活かしていきます。〈良好な景観の形成〉

市の取り組み

- ①良好な景観形成へ誘導します ②景観形成に対する意識の啓発を推進します

市民の取り組み

- ・地域に花の植栽を行ったりフラワーロード植栽に参加し美しい景観作りに努める。
- ・個人宅においても、草刈りや清掃など家屋や敷地の維持・管理を行う。
- ・家屋の新築・改築にあたっては、周囲の景観との調和に十分配慮する。

事業者の取り組み

- ・建物の建設や看板の設置にあたっては、周囲の景観との調和に十分配慮する。



フラワーロードの植栽

個別目標 自然とふれあい、人とふれあう公園や散歩道づくりなどを市民の参加ですすめていきます。〈豊かな緑の保全と創出〉

市の取り組み

- ①公園緑地の整備と創出を推進します
②ふれあいのある散歩道の整備と創出を推進します

市民の取り組み

- ・地域の公園を住民の手により維持・管理する。



個別目標 歴史の趣きと静かなたたずまいを活かして、自然と人とのふれあいのあるまちづくりをすすめていきます。
3-4 <ふれあいと特性を活かしたまちづくりの推進>

市の取り組み

- ①地域の特性を活かしたまちづくりに取り組みます
 ②人にやさしいまちづくりに取り組みます ③環境に配慮した土地利用を推進します

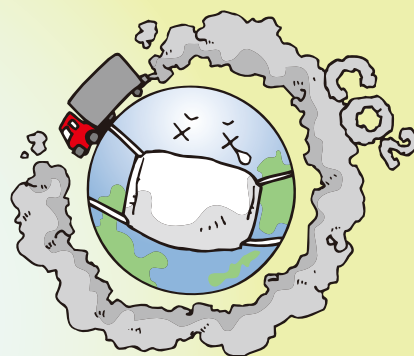
市民の取り組み

- ・地域で特色を話し合い、個性を活かした地域づくりに取り組む。

環境キーワード

「地球温暖化の防止 ～地球の平均気温は100年間で0.74℃上昇～」

2007年に発表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）資料では、1906年～2005年の100年間に地球の平均気温が0.74℃上昇し、確実に温暖化が起きており、その原因は人間が排出する温室効果ガスの増加による可能性が非常に高いとしています。“0.74℃”と聞くとわずかな気温差だと感じる人もいますが、ホッキョクグマの絶滅危機、氷河の消失、台風の巨大化など、温暖化が原因と考えられる被害は多方面に広がっています。また気象庁の資料では、日本の平均気温も1898年（明治31年）以降では100年あたりおよそ1.1℃の割合で上昇しているということです。



地球は、二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」と呼ばれる微量ガスの温室効果によって、現在の気温を維持してきました。しかし、産業革命以降、石油や石炭などの化石燃料を継続的に燃焼し続けたことにより、大気中の二酸化炭素などが著しく増加し、その結果、温室効果によって宇宙空間に放出されるはずの熱が大気中にとどまるようになってしまい、地球の温暖化が引き起こされてきています。地球温暖化に影響のあるガスのうち、二酸化炭素が約6割を占めていると考えられていることから、二酸化炭素の排出抑制が地球温暖化防止における最大の課題とされています。

二酸化炭素の排出は、日常生活とも密接な関連があり、自動車運行時、電力消費時、ごみの焼却の際にも二酸化炭素が排出されています。私たちの生活の中では、自動車のアイドリングストップ、家庭で使う電気の節電、薪ストーブやペレットストーブを利用することなどで、二酸化炭素の排出を削減することができます。地球のために、できることから温室効果ガス削減に心がけたいですね。